

## たくさんの真心ありがとうございます

下記の方々から本会に寄附金・支援金をいただきました。本当にありがとうございました。(平成25年10月末現在)  
平成25年9月30日特定非営利活動法人モバイル・コミュニケーション・ファンドさまより社会福祉事業の進展に資するため……………500,000円

### 東日本大震災に関する支援金

平成25年9月3日株式会社ブリッジさまより … 49,026円  
平成25年10月4日株式会社ブリッジさまより … 42,956円  
皆さまからお寄せいただいた支援金は東日本大震災による復興支援のために活用させていただきます。

## 被災校を支援する ウェブベルマーク運動スタート

ネットで買い物をすれば、買い物の額に応じて東日本大震災で被害に遭った小中学校、特別支援学校への支援金が生まれるという新しい支援活動が9月にスタートしました。「ウェブベルマーク運動(<http://www.webbellmark.jp/>)」です。学校の支援を実施するのは公益財団法人ベルマーク教育助成財団。ネットを開き、まずは登録してください。旅

行の予約や本の購入など通常の買い物ならばほとんどが可能で、ポイントなどサービスも変わりません。支援したい方は、ウェブベルマークのサイトを通じてからお買い物を。

個々人の支援額や全国の支援総額がネット上に表示されます。また支援を受けた学校などのニュースもネットで配信されます。

問い合わせ/ウェブベルマーク協会 今宿  
TEL/080(5381)1609

## 和風園「手芸クラブ」交通安全 キーホルダーをありがとうございます

特別養護老人ホーム和風園の利用者さんから、交通安全を願い、丹精を込めて手作りされたキーホルダーをいただきました。ペットボトルのキャップを再利用したピンク・黄色・緑などの色とりどりのエコハット。交通事故ゼロを目指し大切に使用させていただきます。



### 被災者支援の取り組み

七ヶ浜町は甚大な被害を受け、現在も多くの方々が応急仮設住宅、みなし仮設住宅(民間借り上げ住宅)などで生活を余儀なくされています。  
七ヶ浜町社会福祉協議会では、被災者支援事業の一環として平成23年12月にぎずな工房をオープンしました。町地域福祉課、NPO法人レスキューストックヤードと連携し、被災者が手芸や木工などを行いながら楽しく交流したり、生きがいづくりの場となるよう運営してきました。  
また、食の支援事業として、ぎずな工房と同様に東日本大震災によって被災された方を対象とした「健康料理教室」などを定期的に開催し、健康的な食生活の維持、生活習慣病の予防などを含めた支援を



▲かえる通信

応急仮設住宅へ入居している方の中には、すぐそばにサポートセンターが設置され、情報や手厚いサポートが受けやすい体制が整っていますが、みなし仮設住宅入居者の場合には、支

# 復興 被災地のいま

東日本大震災の発災から2年9カ月が経過し、自ら住宅などを再建し新たな生活を始められた方もいますが、仮設住宅などでまだまだ辛い日々を送っている方も多く、継続した支援が必要です。その現況について七ヶ浜町社会福祉協議会からお話を伺いました。

行っています。

### 訪問活動の充実

平成24年度より、町内、近隣市町、その他地域のみなし仮設住宅へ入居されている方約200世帯を対象とした訪問活動を実施しています。現在まで情報の提供、孤独感の緩和、生活状況の把握などを目的としながら、4回の訪問を行っています。

援や施策に関する情報の不足、人と人とのつながりが希薄になりやすいとの課題があります。そのような背景の中、七ヶ浜町社協ではみなし仮設入居者への支援の充実を図るため、七ヶ浜町社協の事業、地域の行事や防災集団移転に関する情報、住宅に関する復興施策などを記載した「かえる通信」という広報誌を作成し入居者に直接お渡しして情報の提供を図ってきました。



▲訪問の様子

### 住民と寄り添う支援

訪問活動を開始する際に、社協職員だけではなく町内の民生委員の方に同行していただくことにより、民生委員との再会を喜ばれる入居者がいたり、社協職員ともども温かく迎えていただくことができました。その後3回目、4回目の訪問は民生委員の方との同行は行わず、社協職員のみで訪問を行っています。今では過去の訪問活動が実を結び、顔の見える関係を築いたことで、お会いした方々から貴重なお話を伺うことができました。自ら社協

いて、少しずつ住民に寄り添う形ができてきたと感じています。  
みなし仮設住宅入居者への訪問活動以外にも、以前から実施してきた単身高齢者などへの見守り・訪問活動の継続と、10月から新たに、応急仮設住宅やみなし仮設住宅に入居されず自立再建された方など、早くから現地で生活されている方を対象にした訪問活動をスタートさせたことにより、今まで点であった訪問活動が線で結ばれ、より充実した住民支援へとつながりつつあります。

### これから・・・

今後は災害公営住宅への移行が行われ、その際にはさまざまな課題が浮き彫りになると想定されます。現在、七ヶ浜町社協として七ヶ浜町が策定を予定している「災害公営住宅見守り支援計画」の策定委員会に参画し、今後のあるべき支援を見据えて検討を重ねています。  
住民が相互に見守りなどを行える環境を作り上げるため、社協としてどうアプローチしていくかなど、これから住みよい七ヶ浜町を作り上げるための活動を継続していきます。

## オススメ製品のご紹介

県内の障害者就労支援事業所で作るオススメの製品を紹介します。

### ●ビーズストラップ

パルいずみでは一つ一つ手作りでビーズアクセサリーを制作しています。冬季おすすめ商品の「都の都のケヤキの精(光のページェントVer)」は、期間限定で絶賛販売中です。



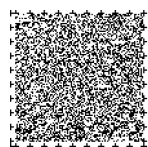
「ピンクの光の葉」は、ページェントの電球の中に、1つだけあるピンクの光を見つけると幸せになれる、というストーリーが基になっています。リースストラップは、これからの季節にピッタリの商品です。クリスマスのプレゼントに是非いかがでしょうか。

### ●伊達なブローチ・マグネット「むすび丸」

仙台市泉区南光台の一軒家で色とりどりの陶芸品をつくっています。一つ一つ手づくりした「ころんとぼってり。ちがうかたち、ちがういろ」の小物や食器たちはバラバラのよう



でいて、たくさん集まるととても華やかで愛らしいものばかり。その中でキラッと光る存在なのは、最近仲間入りしたニューフェイスの仙台・宮城観光PR担当課長「むすび丸」。つややかな彼はブローチとしてもマグネットとしてもあなたの心をわしづかみです!



社会福祉法人緑仙会 パルいずみ  
〒981-3131 仙台市泉区七北田字大沢鳥谷ヶ沢8-11  
TEL/022(377)4802 FAX/022(377)3762  
✉ pal-izumi@viola.ocn.ne.jp  
URL/ <http://www.ryokusenkai.org/>

特定非営利活動法人ソキウスせんだい アトリエ・ソキウス  
〒981-8003 仙台市泉区南光台4丁目30-23  
TEL/022(301)1252 FAX/022(301)1252  
✉ atelier-socius@sa2.gyao.ne.jp  
URL/ <http://atelier-socius.blog.so-net.ne.jp/>

